



2021年6月18日

各 位

会 社 名 サクサホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸井 武士
(コード番号 6675 東証第1部)
問 合 せ 先 財務部長 長谷川 正治
(TEL. 03-5791-5511)

(訂正)「四半期報告書に係る四半期レビュー報告書の限定付適正意見に関するお知らせ」
の一部訂正について

2020年11月16日に「四半期報告書に係る四半期レビュー報告書の限定付適正意見に関するお知らせ」について公表いたしましたが、一部の記載に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

「四半期報告書に係る四半期レビュー報告書の限定付適正意見に関するお知らせ」につき1ページの「2. 四半期レビュー報告書の内容」の記載に誤りがありましたので訂正いたします。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には____を付して表示しております。

【訂正前】

2. 四半期レビュー報告書の内容

第18期(2021年3月期)第2四半期の四半期報告書に係る四半期レビュー報告書

受領した第18期(2021年3月期)第2四半期の連結財務諸表に係る四半期レビュー報告書の限定付適正意見の根拠は以下(原文抜粋)のとおりであります。

限定付結論の根拠

当監査法人は、前連結会計年度の連結財務諸表に対する監査における重要な拠点の見直しにより重要な拠点となった連結子会社については、前連結会計年度の期首の棚卸資産の实地棚卸に立ち会うことができず、また、代替手続によって当該棚卸資産の数量を検証することができなかった。そのため、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の売上原価等に修正が必要かどうかについて判断することができず、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に対して限定的結論を表明している。当該事項が当連結会計年度の第2四半期連結累計期間の数値と対応数値の比較可能性に影響を及ぼす可能性があるため、当連結会計年度の第2四半期連

結累計期間の四半期連結財務諸表に対して限定付結論を表明している。この影響は前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の売上原価等の特定の勘定科目に限定され、他の勘定科目には影響を及ぼさないことから、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表全体に及ぼす影響は限定的である。したがって、四半期連結財務諸表に及ぼす可能性のある影響は重要であるが広範ではない。

(後略)

【訂正後】

2. 四半期レビュー報告書の内容

第18期(2021年3月期)第2四半期の四半期報告書に係る四半期レビュー報告書

受領した第18期(2021年3月期)第2四半期の連結財務諸表に係る四半期レビュー報告書の限定付適正意見の根拠は以下(原文抜粋)のとおりであります。

限定付結論の根拠

当監査法人は、前連結会計年度の連結財務諸表に対する監査における重要な拠点の見直しにより重要な拠点となった連結子会社については、前連結会計年度の期首の棚卸資産の実地棚卸に立ち会うことができず、また、代替手続によって当該棚卸資産の数量を検証することができなかつた。そのため、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の売上原価等に修正が必要かどうかについて判断することができず、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に対して限定付結論を表明している。当該事項が当連結会計年度の第2四半期連結累計期間の数値と対応数値の比較可能性に影響を及ぼす可能性があるため、当連結会計年度の第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に対して限定付結論を表明している。この影響は前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の売上原価等の特定の勘定科目に限定され、他の勘定科目には影響を及ぼさないことから、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表全体に及ぼす影響は限定的である。したがって、四半期連結財務諸表に及ぼす可能性のある影響は重要であるが広範ではない。

(後略)

以 上